

本仮訳は、CDC が作成した「Disinfecting Your Facility」（最終更新日 2020/7/28）をジェトロが仮訳したものです。ご利用にあたっては、原文もご確認ください。

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/disinfecting-building-facility.html>

【清掃・消毒の仕方】

〈清掃〉

- 使い捨て手袋を着用して清掃・消毒を行ってください。
- 石鹼と水で表面を洗浄した後、消毒剤を使用してください。
- 石鹼と水で洗浄することで、表面の雑菌や汚れ、不純物を減らすことができます。消毒することで表面の雑菌を殺すことができます。
- 人が頻繁に触れる表面は、定期的に清掃を行きましょう。
 - 使用頻度が高い場合は、より頻繁に清掃と消毒を行う。
 - 公共の場所にあるショッピングカートや POS キーパッドの表面や物は、使用するたびに洗浄・消毒する。
- 接触する頻度の高いものには以下のものが含まれます。
 - テーブル・ドアノブ・照明スイッチ・カウンタートップ・ハンドル・机・電話・キーボード・トイレ・蛇口・シンクなど

〈消毒〉

- CDC では [EPA 登録済みの家庭用殺菌剤](#)の使用を推奨しています。
- 安全で効果的な使用を行うため、製品についている使用方法の指示に従ってください。
- 多くの製品では以下の使用方法を推奨しています。
 - 一定期間、表面を濡らしておく（製品ラベルを参照）
 - 製品の使用時は手袋を着用し、換気をよくする

殺菌（消毒）剤を安全で効果的に使用するため、必ずラベルに記載されている指示を読み、その使用方法に従ってください。

- 皮膚を保護できるものを着用し、飛沫の危険性がある場合は、目の保護具も着用する。
- 十分な換気を行う。
- ラベルに記載されている推奨量を超えて使用しない。
- 希釈する場合は、常温の水を使用する。（ラベルに特に記載がない限り）
- 化学製品の混合を避ける。
- 希釈した洗浄液のラベル付けを行う。
- 製品は子供やペットの手の届かないところに保管して使用する。

これらの製品を食べたり、飲んだり、吸ったり、体内に注入したり、皮膚に直接散布したりすることは、重大な害を及ぼす可能性があるため絶対にしてはならない。また、これらの製品は動物用として認可されていない製品でペットを拭いたり、入浴させたりしないでください。

[安全で効果的は消毒剤使用のための EPA の 6 ステップ](#)を参照。

喘息の持病を持っている人には特別な配慮が必要で、清掃や消毒を行っている場合には喘息を引き起こす可能性があるため、立ち会いを避けてください。詳細は、[喘息発作を減らす方法](#)を参照。

- 表面消毒に適している場合は、希釈した家庭用漂白剤を使用することもできます。
 - 使用される漂白剤が消毒用で、次亜塩素酸ナトリウム濃度が5～6%であるかどうかラベルを確認してください。また、製品の使用期限が過ぎていないことを確認してください。漂白剤の中には、色のついた衣類やホワイトニング専用に製造されており、消毒に適していないものもあります。
 - 使用期限の切れていない家庭用漂白剤は、適切に希釈すればコロナウィルスに効果があります。製造元の指示に従って塗布し、使用時は適切な換気を行ってください。家庭用漂白剤とアンモニアやその他の洗浄剤は絶対に混ぜないでく

ださい。漂白剤の溶液は、少なくとも1分間は表面につけたままにしておいてください。

- 漂白剤の容積を作るには、以下のものを混ぜます。
 - 常温の水1ガロン（約3.8L）に対し、大さじ5杯（1/3カップ）の漂白剤
- または
- 常温の水1クォート（約0.94L）に対し、小さじ4杯の漂白剤
- 漂白剤溶液は24時間まで消毒の効果があります。
- 70%以上のアルコールを含むアルコール溶液を使用しても構いません。

〈やわらかい表面〉

カーペット敷きの床・ラグ・ドレープなどのやわらかい表面

- 石鹼と水、またはこれらの洗浄に適したクリーナーを使用して表面を清掃してください。
- 製造元の指示に従って、（可能な場合は）洗濯してください。適温のお湯を使用し、完全に乾かしてください。

または

- EPA登録済みの家庭用消毒剤で消毒してください。[これらの消毒剤](#)は、COVID-19に対して使用するためのEPA基準を満たしています。
- [通常通り掃除機をかけてください。](#)

〈電子機器〉

タブレット・タッチスクリーン・キーボード・リモコン・ATM機などの電子機器

- 電子機器には拭き取り可能なカバーを付けることを検討してください。
- 清掃および消毒については、製造元の指示に従ってください。

- 指示がない場合は、**70%以上のアルコールを含むアルコールベースの拭き取りシート**もしくは**スプレー**を使用してください。表面は完全に乾燥させてください。

〈洗濯〉

衣類やタオル・リネン類など

- 製造元の指示に従って洗濯をしてください。温かい適切な水温の設定で洗濯を行い、完全に乾燥させてください。
- 体調不良者の汚れた洗濯物を扱うときは、**使い捨て手袋**を着用してください。
- 体調不良者の汚れた洗濯物は、他の人のものと一緒に洗うことができます。
- 汚れた洗濯物を**振り回す等、汚れが飛散する**ようなことはしないでください。
- 表面清掃の方法に従って**衣類かご**を清掃・消毒してください。
- 手袋を外し、すみやかに手を洗ってください。

〈体調不良者が出た場合の建物や施設の清掃・消毒について〉

- 体調不良者が使用したエリアを閉鎖してください。
 - 企業が、体調不良者が使用したエリアを閉鎖することができれば、必ずしも業務を停止する必要はありません。
- **ドアや窓を開けて**、感染者が接触したエリアの空気循環を行ってください。
- 清掃や消毒をする前に **24 時間おいてください**。24 時間放置することが現実的でない場合は、できるだけ長く待つようにしてください。
- オフィス、トイレ、共有エリア、タブレット・タッチスクリーン・キーボード・リモコン・ATM などの共有電子機器など、**体調不良者が使用したすべてのエリア**を清掃し、消毒してください。
- 必要に応じて掃除機をかけてください。HEPA（高性能エアフィルター）搭載の掃除機がある場合は、それを使用してください。

- 人がいる部屋やスペースには掃除機をかけないでください。共有スペースの場合は夜間、個室の場合は日中など、部屋やスペースに人がいなくなるまで待つてから掃除機をかけてください。
- 清掃・消毒の際には、使い捨て手袋を使ってください。カーペット敷きの床やラグのような柔らかい（通水性がある）表面には、ラベルに従って、洗剤を使って清掃してください。清掃後、[List N: SARS-CoV-2 用の消毒材](#)にある適切な EPA 登録された消毒材を使って消毒してください。カーペットのような柔らかく通水性のある素材は、一般的に硬く通水性のない表面に比べ消毒することが簡単ではありません。EPA は List N に柔らかく通水性のある素材に使える承認済み消毒材を記載しています。消毒材の製造元の安全な使用方法（手袋の着用、空気循環等）、濃度、塗布方法、使用時間を守ってください。塗れた表面に掃除機をかけられない場合、十分に乾かしてください。
- HVAC（暖房、換気、空調）機器の汚染を防ぐため、一時的に室内・窓取り付け用・壁接着用の HVAC 機器を止めてください。
- セントラル HVAC システムを停止（deactivate）させないでください。このシステムは、換気能力があり、外気を室内に取り入れることができます。
- 掃除機から出る粒子が施設内を循環しないように、一時的に部屋のファンやセントラル HVAC システムの電源を切ることを検討してください。
- **体調不良者が使用したエリアが適切に消毒されたら、使用することができます。**
 - 体調不良者と濃厚接触していない従業員は、消毒終了後すぐに職場に復帰することができます。
- 体調不良者が施設を訪問、利用してから7日以上が経過している場合は、追加の清掃・消毒は必要ありません。
- 通常の清掃・消毒を継続して行ってください。企業や地域社会が健康的な環境を維持するために、普段から行っていることを含みます。

〈屋外エリアの清掃・消毒〉

- 学校や公園の運動場のような屋外では、一般的に**通常の清掃方法をする必要**がありますが、**消毒は必須ではありません**。
 - 屋外運動場では消毒材を吹きかける必要はありません。効率的な使い方ではなく、公共の場での COVID-19 のリスクを減らすことは証明されていません。
 - てすりのようなプラスチックや金属でできたよく触れる表面は、日常的に清掃してください。
 - 木でできた表面（遊具、ベンチ、テーブル）や地面を覆う植物（腐葉土、砂）の清掃・消毒は推奨されていません。
- サイドウォーク・道路を消毒する必要はありません。
 - このような表面から COVID-19 が広がることは少なく、消毒は効果的ではありません。

〈清掃時の注意事項〉

- 正規の清掃員は、コミュニティスペースの清掃と消毒を行うことができます。
 - 清掃員が清掃と消毒用化学薬品の適切な使用方法について訓練を受けていることを確認してください。
- ゴミの処理を含め、清掃中は作業時に使い捨ての手袋とガウンを着用してください。
 - 使用する清掃・消毒剤や飛沫の危険性に有無に応じて、追加の個人用保護具（PPE）が必要になる場合があります。
 - 手袋やガウンは、着用者や周囲の汚染を避けるために慎重に取り外す必要があります。
- 石鹼と水で 20 秒間、こまめに手を洗ってください。
 - 手袋を外した後や体調不良者と接触した後は、必ずすぐに洗ってください。
 - 手指用消毒剤を使用してください。石鹼と水が使用できず、手が目に見えて汚れていない場合は、アルコールを 60%以上含むアルコール系の手指用消毒剤

をしようしてもかまいません。ただし、手が目に見えて汚れている場合は、必ず石鹸と水で手を洗ってください。

手指用消毒剤を安全で効果的に使用するために、ラベルに記載されている指示を必ず読み、それに従ってください。

- 手指用消毒剤は火気や炎に近づけないようにしてください。
- 6歳未満の子どもが、手指用消毒剤を使う際には大人の監督のもので使用してください。
- 子供やペットの手の届かないところに手指消毒剤を保管してください。

[安全な除菌剤の使用のための FDA の情報](#)と [CDC の手の除菌剤の使用のための注意事項](#)を参照してください。

- 以下のような場合は、手を洗うようにしてください。
 - 鼻をかんだ後、咳やくしゃみをした後
 - トイレを使用した後
 - 食事をする前、または食事の準備をする前
 - 動物やペットと接触した後
 - 介助を必要とする他の人（例：子供）の日常的なケアを行う前後

〈雇用主が考慮すべき追加事項〉

- 清掃・洗濯・およびごみ拾い等を行っている従業員に教育し、COVID-19 の症状を理解させてください。
- ウィルスへの接触後、14 日以内に[症状](#)が出た場合の対処方法を従業員に提供してください。
- 清掃作業させる前に、従業員保護のための方針を策定し、現場のすべての清掃スタッフにトレーニングを行ってください。
 - トレーニングには、いつ PPE（防護具）を使用するか、どのような PPE が必要であるか、PPE の適切な着脱方法、使用方法、および PPE の適切な廃棄方法が含まれるようにしてください。

- 労働安全衛生庁（OSHA）のハザードコミュニケーション基準（[29 CFR 1910.1200](#)）に従って、従業員が職場で使用される洗浄用化学物質の危険性についてトレーニングを受けていることを確認してください。
- 規制廃棄物の適切な処分、および PPE（[29 CFR 1910.132](#)）を含め、血液媒介性病原体に関する労働安全衛生庁（OSHA）の基準（[29 CFR 1910.1030](#)）に従ってください。

〈その他の消毒方法〉

- COVID-19 ウィルスへの超音波・強力紫外線・LED ブルーライトのような代わりとなる消毒方法の効果は認められていません。
 - EPA は UV ライト、LED ライト、超音波装置のような殺虫装置の安全性や効果について頻繁に確認をしていません。そのため、EPA は、そのような製品が COVID-19 の蔓延に効果があるのか、どのような状況なのかを確認していません。
- CDC は消毒トンネルの使用を推奨していません。COVID-19 の蔓延を減らす効果は確認されていません。消毒トンネルで使われる化学物質は、皮膚・目・呼吸器の炎症又は損傷をもたらす可能性があります。
- CDC は COVID-19 ウィルスに対して [List N に記載されている表面消毒材](#) のみの使用を推奨しています。

〈夜間に泊まる人がいる施設〉

- [大学](#) 向けの CDC ガイダンスに従ってください。州・自治体の衛生当局と行動し、最適な体調不良者の隔離方法、一時的な宿泊施設が必要かどうかを確認してください。
- 体調不良者の寝室・バスルームを清掃・消毒する際のガイダンスは、CDC の [体調不良者がいる場合の家の消毒方法](#) に関するガイダンスを参照してください。

【免責条項】本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェットロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェットロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。